



新村の人口・世帯数	
令和7年7月1日現在	
世帯数	1,344戸
男	1,497人
女	1,597人
合計	3,094人

ものぐさ大学

自然観察会

命をつなぐ道

5月1日、ものぐさ大学「自然観察会」の23名で小谷村千国街道・塩の道を歩きました。梅池高原松沢口より街道歩きです。案内は現地のガイドの田中省三さんです。百体観音にお参りをして牛方宿に、歩荷と牛や馬が暖をとる、夜露をしのぐだけの木賃宿のことでした。

道中には紅白のイチゲ・エンレイ草・わさびの花など、早春の花が観られ、参加者は可憐な姿をスマホに収めていました。

坂を下り「千国口留番所」に、関所が置かれ通行には重税が課されていたそうです。

隣接し移築された「千国の庄資料館」では当時の暮らしぶりを偲ぶことが出来ました。

バス移動で「小谷村郷土館」に、たくさん展示物があり

ました。

昼食は地元の食材やお釜で炊いたご飯など、春の息吹きを堪能しました。物の流れの大変さを感じました。



春を待ちわびて

大人の社会見学

『かんてんぱぱ』

『健康セミナー』受講と見学

6月23日、参加者30名で伊那市のかんてんぱぱの健康セミナー受講と施設見学をしました。

かんてんぱぱでは、地域住民の健康をサポートするために、健康づくりのための様々な講座を行っています。今回は「健康づくりのための腸活」というテーマで、心身健康に過ごすための「腸活」の方法



腸超元気

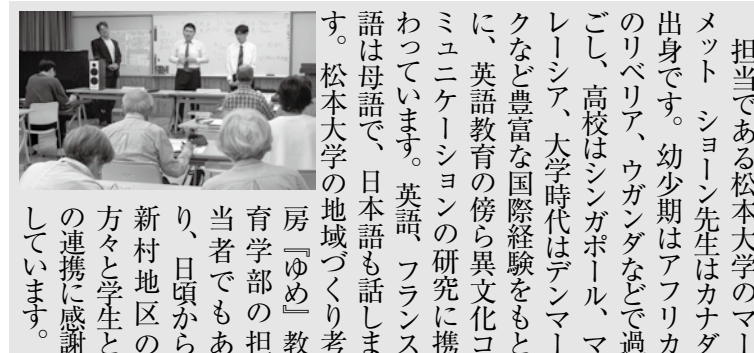
かい「ありがとうございます」といきました。この言葉に見送られ、こちらも自然と感謝の気持ちで湧いてきました。季節の花などを楽しまつためにまた訪れたいと思いました。

についての講義を受け、腸を元気にするためのポイントや実際の食事への取り入れなどを学ぶことができました。その後、天気はあいにくの雨でしたが、自然豊かで美しい施設内を廻り、ゆったりとした時間を過ごすことができました。広大な庭園は、働く社員や訪れる人が安心して憩える空間を…という想いから、毎朝社員が協力して手入れを行っているそうです。会社の中で大切にしている言葉のひとつが「忘己利他」です。「自分のことだけを考える人生はおもしろくない。他人を思いやり、他人のために行動してこそ、人生は楽しく充実していくのです。」(かんてんぱぱは最高顧問、塚越寛) さわやかで温

シヨーンゼミの英会話開催中

今年の5月より、新村公民館2階において、「シヨーンゼミの英会話」を開催しています。毎月2回、時間は午後3時半からです。

講師は松本大学教育学部の3年生が担当し、初級から中級の英会話をわかりやすく、楽しく学んでいます。英語をもう一度学んでみたい方、仲間と一緒に英会話でコミュニケーションをしてみたい方など、現在約20名が参加しています。



担当である松本大学のマーマットシヨーン先生はカナダ出身です。幼少期はアフリカのリベリア、ウガンダなどで過ごし、高校はシンガポール、マレーシア、大学時代はデンマークなど豊富な国際経験をもとに、英語教育の傍ら異文化コミュニケーションの研究に携わっています。英語、フランス語は母語で、日本語も話します。松本大学の地域づくり考

茶色の松葉に覆われた庭木の松、おそろくマツノザイセンチュウに侵入されてしまったのだらう▼枝先を見上げると、昨年の秋に種を飛ばし終え大きく開いた松笠、まつぼっくりが一面についていた。健全な松のまつぼっくりなら、種子を包み保護する役割を終え、種をすべて飛ばし地面に落ちるが、落ちないでいる。悲しい性に思えた▼樹齡樹形が同様な対峙している松を見ると、秋にはまつぼっくりになるのだらうが緑色の実をしっかりとつけている。種を残そうと秋には笠を大きく開き、膜の付いたタネを風に乘せて飛ばすことだらう▼昔は庭に松が有ることが誇らしいことであつた、庭木を眺めながらお茶を飲むようなゆとりのない今は、お金のかかる厄介なもの▼懸命に生きる松の営みに反するのだらう▼「枯れてしまった松は切り倒してもご先祖様は怒るまい」と言う。

珈琲の香り立つ



5月22日、あたらしの郷協議会と新村公民館・福祉ひろばの共催で「美味しいコーヒーの淹れ方」の講習会を、初めての企画で20名で実施いたしました。

講師は塩尻市に本社を置く「有(三澤珈琲)」社長、三澤優治さんをお招きして「自分好みのコーヒー・コーヒーの背景を知って楽しんで！」と題して行いました。

①コーヒーの基礎知識
②コーヒードリップの実技
③生産地の情報等
3部構成で行いました。
①品種・標高・精製方法等により、酸味や苦味の変化、焙煎による違い、ドリップに

おけるポイント(二杯分の粉の量、湯の温度、そそぎ方)よくありがちな間違い等々、多くの知識を教わりました。

②実技では講師による実演ドリップ、その味を共有してから、自らもドリップに挑戦しました。飲み比べをして、違いにビックリ。ドリップの仕方や浅煎りと深煎りの違いで風味が異なることを実感し驚きました。

③自分で淹れたコーヒーを飲みながら、生産地情報等の映像を見せていただきました。グアテマラやホンジュラスの視察風景や、就労者不足などの生産地課



違うね～

題などの説明も受けました。収穫から出荷状態までの過程、コーヒーの買付け風景等の説明を受け、普段愛飲しているコーヒーの背景を知り、商品のコーヒー豆になるまでは大変な過程が必要であると、知見を深く学ぶことができました。三澤社長は「コーヒーの背景にあるものを知り、もともと楽しんでほしい、コーヒーは特別な力を秘めており、人生も豊かにする」と話されました。

多くの質疑にも対応していただき、大きな拍手が贈られて終了となりました。希望者多数で、お断りいたしました方には、大変申し訳ございませんでした。

寺子屋こどもの日フェスティバル開催!



5月25日、新村地区の子どもを対象とした、休日の居場所づくりを行う寺子屋が開催されました。今月は、夏に行うカレー作りのために、ナスやじゃがいも、にんじんなどの夏野菜のたねまきや苗植えを行いました。このほかにも、こどもの日にちなんでこいのぼりの絵を大学生と一緒に描きました。色鉛筆やマジックを使い、カラフルに彩られたこいのぼりは、子どもの創造力の豊かさを存分に表現していました。今回は

子どもと大学生計12名が参加しました。初めて参加した大学1年生の向山巴葉(むかいやまはな)さんは、「子どもと関わる中で元気をもらえた。体力をすく使ったので疲れた」と話していました。



寺子屋の活動は毎月新村公民館にて開催しています。参加していただける新村地区の子どもを募集しています。参加を希望される方は、松本大学地域づくり考房「ゆめ」(電話0263-4817213)まで連絡をお願いします。

スマホを便利に安心に! スマホ講座開催中

6月19日に新村公民館にて新村地区の高齢者を対象にしたスマホ講座が開催されました。今回は検索に関する機能や技術が紹介されました。

グーグルの検索機能を使い、画像検索や音声検索について学んだほか、AIについても説明がありました。講座の中では実際に自分のスマホで学んだ内容を実践しました。「電話やLINEしか使わなかったが、実際に使ってみると便利な機能があり興味深かった」といった声や、「新しく学んだ機能を覚えられるか心配」などと話していました。

スマホ講座は参加している方のペースに合わせて、講座内容を変更し運営しています。また、個別に相談できる時間を作り、スマホに関する悩み事や問題を解決できるようにしています。スマホを持ってきただけで、気軽に参加できます。7月も月2回、新村公民館大会議室にて開催予定です。是非ご参加ください。

初夏の寄せ植え講座開催

5月27日、日本ハンキングバスケット協会公認講師の竹下光重さんを招き、初夏の花の寄せ植え講座が開催されました。

参加者は講師のアドバイスを受けながら、思い思いに寄せ植え作りを行いました。出来上がった作品は三者三様で、お互いに作品を見せ合いながら、「この花はここに植えたんですね」「この花の見せ方が上手ですね」と会話を弾ませました。

また、講師から花選びのコツや、長持ちさせる方法等の説明には、ときおり質問をしながら熱心に聞き入りました。



センスを磨く

町会対抗球技大会開催

大会結果

ソフトバレーボール 出場10町会
優勝…東新
準優勝…上新東
第3位…北新中
ソフトボール 雨天のため中止